

# 一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。

(令和5年6月定例会の会議録は準備出来次第となります)



## 一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：11名

※議員名の下の( )は、所属する会派または政党を示します。



## 一般 これからの治水対策

西下 敦基(市民ネット)



Q 昨年の市政懇談会において、越水や内水した場合の被害額は約242億円との言及があった。どのような被害が想定されているのか。

A これまでの河道掘削により、大幅な水位低減効果が図られている。河道掘削を実施しなかった場合、小笠地区で堤防が決壊し家屋・農作物・公共施設の被害額と応急対策費用及び営業停止の損失などから、菊川本川と牛瀧川をあわせて被害額が推定されている。

Q 国において60万m<sup>3</sup>を河道掘削する計画について伺う。

A 河川整備計画の目標掘削土量は、おおむね30年間で約60万m<sup>3</sup>となっているが、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策などにより重点的に河道掘削が実施され、令和3年度末までの掘削量は30・5万m<sup>3</sup>となっている。

Q 黒沢川流域での内水被害の一番の問題は、牛瀧川の川幅の狭さ・流水能力が少ないことで



ある。この流域の水害を根本的に解決するために国と協力して江川排水機場より下流の川幅を広げる引き堤や流量を増加させる堤防の改良などを進めていくことができないか。

A 国と情報共有を図るとともに、連携した流域治水への取り組みを引き続き推進していく。本市においては、早期の治水対策効果の発現を目指し、公共用地等を活用した雨水貯留施設の整備及び棚草川隣接地への段階的な整備に取り組んでいく。